



BTMUビジネスサポート・プログラム  
**Rise Up Festa** 「Rise Up Festa 2014」  
優秀賞受賞

三菱東京UFJ銀行が主催する、新たな事業にチャレンジする中小企業のためのビジネスサポート・プログラム「Rise Up Festa2014」において、セントラルグループの「建設と介護の“複業化”」ビジネスモデルが全国の多数の応募案件の中から優秀賞に選ばれました。

**国土交通省局長表彰を  
受賞しました！**

この度、「19号恵中拡幅整備工事」において国土交通省中部地方整備局長表彰を受賞しました。また、同工事の現場代理人を務めた西尾毅智が優良技術者として同じく局長表彰の栄に賜りました。

此度の栄誉ある受賞を励みとし、今後も企業理念に謳ってある「地域の安全で快適な生活基盤を創造する担い手」としての体力強化に努め「地域になくても言われるよう企業努力を重ねて行く所存であります。何卒、ご指導ご鞭撻を賜らんことをお願い申し上げます。

セントラル建設もブース出展します！

## リフォームフェア2014 in 東濃

9月13・14日の2日間、土岐市のセラトピア土岐にて、クリナップ水廻り工房リフォームフェアが開催され、セントラル建設もブース出展します。

このフェアには、水廻りメーカー・クリナップの人気商品がずらり勢揃い。最寄りのショールームが小牧にしかないため、ちょっぴり不便を感じている東濃地域の皆様にも老舗ステンレスメーカーのキッチンやユニットバス・洗面化粧台の豊富なラインナップを見比べて頂けるチャンスです。

また、来場記念品やお子様も楽しめる縁日コーナー、素敵な賞品がもらえるキーワードラリーなどご家族そろって楽しめるイベント盛りだくさんでお待ちしています。

ご家族やご友人とお誘いあわせの上、どうぞお気軽にお越しください。



開催日 9/13(土)・14(日)  
場所 セラトピア土岐  
セントラル建設担当者・木藤  
080-6969-1404



表彰された現場の完成写真



局長表彰社記念撮影



優良技術者表彰 西尾毅智

## 介護の現場から



### 『福祉用具レンタルカタログ』を リニューアルしました！

福祉用具貸与事業で皆様にお世話になっておりますKanekuコーポレーションも、この事業をはじめ、今年で9年目を迎えました。

そんな中、今回で4回目となるレンタルカタログ (Vol4) のリニューアルを致しました。今回は、日頃お世話になっているケアマネジャーさんに、カタログに対しての要望などをお聞きして作成しました。ご協力に有り難うございました。

① 当初のカタログは、レンタルと購入品のカタログが分かれていましたが、前回のリニューアルよりレンタルカタログに購入品の掲載を始めました。また、今回はさらに掲載ページを増やすことにしました。

② 以前までのカタログは、車いすや歩行器の寸法表示が小さく見にくいとのご意見を頂きました。そのため今回、見やすく大きくしました。



③ リニューアルに伴い、最新商品の掲載もさせて頂いております。特殊寝台からは「ミオレット2」、床ずれ防止用具からは「FEEL (フィール)」、車いすからは「ネクストコア」です。まだ他にも、商品内容が変わっております。どうぞ、ご確認ください。

④ 該当ページをすぐに見ることが出来るようにインデックスを付けました。いつでも見たいページを簡単に開けます。

他にもご紹介したい商品が数々掲載してあります。新しく生まれ変わったカタログを是非ご確認ください。ご利用頂いたら嬉しく思います。

また、記載されていない商品も取り扱っております。どうぞ、お気軽にお問い合わせ下さい。

今後も皆様のお声をお聞きし、より見やすく使いやすいカタログを創って行くと共に、今まで以上に、皆さまのご要望にお応え出来る会社づくりに邁進して行きたいと考えています。どうか、引き続きご愛顧賜らんことをお願い致します。

恵那駅前中央通り **セントラルパーク**  
16台 駐車可  
中山道  
広重美術館前  
旧岐阜BK跡

恵那駅前徒歩 3分  
24h 500円

サービス内容	メニュー	お電話番号	担当者	部署	会社名
土木建設資材	コンクリート製品・塩ビパイプ・グレーチング・フェンス・カーポート	0573-26-1811	安保	営業部	Kanekuコーポレーション kaneku.com info@kaneku.com
介護に関するご相談	在宅介護や介護保険制度について		中山	ライフケア事業部	
福祉用具レンタル	ベッド・車いす・手すり・スロープ・歩行器・リフト		池戸		
福祉用具販売	ポータブルトイレ・入浴補助用具・自助具	0573-68-2527	野村	営業部	恵那峡サンド
介護用リフォーム	手摺・バリアフリー工事・福祉住環境コーディネート		花田		
砂販売	ゴルフ場用バンカー砂・園芸用砂・土木建設用洗い砂	0573-26-4114	伊藤	住宅事業部	セントラル建設株式会社 central1961.com info@central1961.com
リフォーム	キッチン・トイレ・お風呂・外壁・塗装		勝		
建築工事	新築・増改築・耐震・店舗・事務所		大嶋		
エコ住宅工事	太陽光発電・オール電化(エコキュート・IH・エアコン)		水野		
宅地・建物取引事業	土地・建物売買および仲介		長谷川・木藤		
土木・舗装工事	宅地造成・アスファルト舗装・上下水道・コンクリート工事・排水工事	0573-26-4114	長尾・水野・前田	営業部	
外構工事	エクステリア・ガーデニング・車庫まわり		青山	せんとらるライナー編集局	
せんとらるライナーに関して	記事についてのお問い合わせ 紹介したいお店、人、カタログ請求				



僅か24年と6カ月。それが、樋口一葉に与えられた命の全てだった。当時まだ不治の病であった肺結核に冒された彼女の作家人生は、死の間際の14ヶ月で終わった。日本文学史に燦然と輝く彼女のすべての作品は、この短い間に上梓されている。それらは、源氏の物語に代表される平安文学の雅文と、江戸庶民文学の俗文を混合した雅俗折衷文で綴られている。



明治5年に生を受け、幼き頃から四書を素読し小学校高等科まで常に首席だった、才女樋口一葉。父は、そんな彼女に進学を勧めるが、母は「女に学問はいらぬ」と大反対。結局、母の意見が通り途中退学を余儀なくされた。後の日記に

せんとらるライナー食堂車

恵那ダイニング広場 ビストロ白川



高い天井で明るく開放的なダイニング

「自然の恵みに感謝の気持ちを込めて、皆様の心に残る一品をお届けしたい」。そんな思いの込められた「恵那ダイニング広場 ビストロ白川」が、今年5月にオープンした。とんがり屋根のロタンダ（円形建築）が特徴。店内は木材の香りが漂い、自然のぬくもりを感じることが出来る。また、天井が高いのが印象的で、窓からの陽が程よく差し込み、明るく開放的なダイニングを演出している。

このお店のオーナーは、東京全日空ホテルなどで数々の実績を積んできた白川シェフ。白川さんは「地元の食材を使用する」ことにこだわっている。近くで採れたものばかりだから新鮮で、まさに「地元の恵みに感謝の気持ち」が込められた「料理」が並ぶ。モーニングはパン、卵料理、サラダ、ドリンクのセットで450円と大変お値打ち。ランチは、季節ごとに変わる肉料理と魚料理、パンを器にしたカレーなどをメインとした、ピュッフェが人気。他に、アラカルトメニューもある。また、オープン間もないが、今後はお客様様に、もっと楽しんでいただけるスタイルへの展開を目指して行くそう。今のところ、ディナーは予約制。こちらも態勢が整い次第、常時オープンにして行く予定。



また、結婚式の二次会や法事。各種パーティーでの貸し切りも可能。表からは見えないが、北側にはテラス席もあり、ビアガーデンやバーベキューなどの要望にも応じてくれる。気の合う仲間同士集まって、地元の自然の恵みに込めた感謝の気持ちをシェフと共有するのはいかがだろうか。



とんがり屋根のロタンダが目印

定休日 木曜日  
営業時間 モーニング 8:00~10:30  
ランチ 11:30~14:00  
ティータイム 14:00~16:00  
ディナー※ 17:30~21:00  
(※現在は予約制)

電話番号 0573-22-9138  
FAX 0573-22-9160  
住所 〒509-7201 恵那市大井町観音寺2695-511

せんとらるStation伝言板

熊谷守一散策ツアーのお知らせ

付知町（現中津川市）が生んだ日本近代美術を代表する洋画家、熊谷守一。「藤山」は、その守一の生家の屋号。この藤山の十代目、熊谷和彦氏。現在彼は、一年のうちの半分を付知で過ごし、熊谷守一記念館で守一画を鑑賞し、藤山を探访すると云うユニークな「熊谷守一講」を主宰し好評を得ている。



藤山十代目 熊谷和彦氏

芸術の秋。是非一度アカデミックなひとときをお楽しみください。

散策ツアーは、火~日に随時開催。人数は1~10名様程度。実費必要。

お問い合わせ、お申込み先 熊谷和彦 tel090-4846-3699

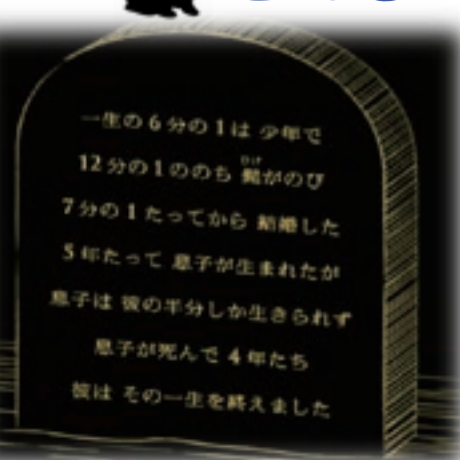


船天井の藤山二階座敷

- アスコンセンター 試験係/重機オペレーター
- 住宅営業マン
- 土木施工管理技術者
- 大型ダンプ運転手
- 現場職員

＜問合せ先＞ セントラル建設株式会社 総務部 内田 0573-26-4114

せんとらるStation待合室



代数学の研究者であったディオファントス。彼のお墓には、この文章が刻まれていたそうです。さて、彼は何歳まで生きたのでしょうか？

【34号 ワールドカップクイズの答え】

- Q1. マラカナの悲劇
- Q2. カナリア軍団
- Q3. ペレ

